

アセットバック証券オープン (毎月分配型) Cコース/Dコース

運用報告書(全体版)

第175期(決算日2016年10月5日) 第176期(決算日2016年11月7日) 第177期(決算日2016年12月5日)
第178期(決算日2017年1月5日) 第179期(決算日2017年2月6日) 第180期(決算日2017年3月6日)

作成対象期間(2016年9月6日~2017年3月6日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Cコース	Dコース
商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2002年3月1日以降、無期限とします。	
運用方針	運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター(MBS(Mortgage Backed Securities)、CMBS(Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS(Asset Backed Securities))への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として米国ドルを用いて為替ヘッジを行います。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	アセットバック証券オープンCコース/Dコース アセットバック証券オープンマザーファンド	アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
主な投資制限	アセットバック証券オープンCコース/Dコース アセットバック証券オープンマザーファンド	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への投資は新株予約権付社債(転換社債)を転換したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Cコース>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			参 考 指 数	債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	期 中 率				
	円	円	%		%	%	百万円	
151期(2014年10月6日)	9,369	20	△0.1	140.39	0.1	99.4	—	714
152期(2014年11月5日)	9,415	20	0.7	141.28	0.6	99.3	—	712
153期(2014年12月5日)	9,442	20	0.5	141.87	0.4	103.7	—	707
154期(2015年1月5日)	9,439	20	0.2	141.81	△0.0	97.8	—	704
155期(2015年2月5日)	9,543	20	1.3	144.21	1.7	95.6	—	708
156期(2015年3月5日)	9,429	20	△1.0	142.22	△1.4	96.9	—	697
157期(2015年4月6日)	9,553	20	1.5	144.11	1.3	97.0	—	704
158期(2015年5月7日)	9,401	20	△1.4	142.56	△1.1	97.1	—	687
159期(2015年6月5日)	9,378	20	△0.0	142.39	△0.1	98.7	—	683
160期(2015年7月6日)	9,332	20	△0.3	142.59	0.1	98.3	—	679
161期(2015年8月5日)	9,347	20	0.4	143.10	0.4	96.5	—	677
162期(2015年9月7日)	9,341	20	0.1	144.14	0.7	94.5	—	674
163期(2015年10月5日)	9,412	20	1.0	145.64	1.0	93.6	—	678
164期(2015年11月5日)	9,311	20	△0.9	143.37	△1.6	93.6	—	665
165期(2015年12月7日)	9,247	20	△0.5	142.94	△0.3	94.7	—	656
166期(2016年1月5日)	9,192	20	△0.4	142.92	△0.0	93.0	—	649
167期(2016年2月5日)	9,327	20	1.7	146.35	2.4	93.5	—	652
168期(2016年3月7日)	9,308	20	0.0	145.33	△0.7	95.1	—	638
169期(2016年4月5日)	9,375	20	0.9	146.59	0.9	93.9	—	643
170期(2016年5月6日)	9,390	20	0.4	146.73	0.1	94.2	—	610
171期(2016年6月6日)	9,363	20	△0.1	146.57	△0.1	94.1	—	607
172期(2016年7月5日)	9,432	10	0.8	148.27	1.2	95.0	—	611
173期(2016年8月5日)	9,420	10	△0.0	148.09	△0.1	94.3	—	606
174期(2016年9月5日)	9,373	10	△0.4	146.88	△0.8	98.2	—	588
175期(2016年10月5日)	9,336	10	△0.3	146.63	△0.2	98.6	—	574
176期(2016年11月7日)	9,314	10	△0.1	146.39	△0.2	96.9	—	574
177期(2016年12月5日)	9,068	10	△2.5	142.17	△2.9	99.3	—	557
178期(2017年1月5日)	9,014	10	△0.5	141.36	△0.6	97.6	—	553
179期(2017年2月6日)	8,990	10	△0.2	141.32	△0.0	95.3	—	550
180期(2017年3月6日)	8,957	10	△0.3	140.79	△0.4	96.2	—	541

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

* 参考指数（=BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース））は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円ヘッジおよび円換算したものです。
 （出所および許可）バンクオブアメリカ・メリルリンチ、〈出所〉ブルームバーグ

<Cコース>

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率			騰 落 率			
第175期	(期 首) 2016年9月5日	円 9,373	% —		146.88	% —		% 98.2	% —
	9月末	9,394	0.2		147.41	0.4		93.5	—
	(期 末) 2016年10月5日	9,346	△0.3		146.63	△0.2		98.6	—
第176期	(期 首) 2016年10月5日	9,336	—		146.63	—		98.6	—
	10月末	9,287	△0.5		145.82	△0.6		98.2	—
	(期 末) 2016年11月7日	9,324	△0.1		146.39	△0.2		96.9	—
第177期	(期 首) 2016年11月7日	9,314	—		146.39	—		96.9	—
	11月末	9,110	△2.2		142.51	△2.7		98.0	—
	(期 末) 2016年12月5日	9,078	△2.5		142.17	△2.9		99.3	—
第178期	(期 首) 2016年12月5日	9,068	—		142.17	—		99.3	—
	12月末	9,022	△0.5		141.38	△0.6		97.1	—
	(期 末) 2017年1月5日	9,024	△0.5		141.36	△0.6		97.6	—
第179期	(期 首) 2017年1月5日	9,014	—		141.36	—		97.6	—
	1月末	9,005	△0.1		141.30	△0.0		95.8	—
	(期 末) 2017年2月6日	9,000	△0.2		141.32	△0.0		95.3	—
第180期	(期 首) 2017年2月6日	8,990	—		141.32	—		95.3	—
	2月末	9,011	0.2		141.79	0.3		95.0	—
	(期 末) 2017年3月6日	8,967	△0.3		140.79	△0.4		96.2	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

<Dコース>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			参 考 指 数	債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配 金	期 騰 落	中 率				
	円	円	%		%	%	百万円	
151期(2014年10月6日)	8,004	15	3.7	143.86	4.0	94.7	—	1,470
152期(2014年11月5日)	8,334	15	4.3	150.07	4.3	94.6	—	1,520
153期(2014年12月5日)	8,801	15	5.8	158.91	5.9	97.6	—	1,566
154期(2015年1月5日)	8,844	15	0.7	159.58	0.4	97.3	—	1,560
155期(2015年2月5日)	8,727	15	△1.2	158.20	△0.9	97.1	—	1,510
156期(2015年3月5日)	8,811	15	1.1	159.44	0.8	96.3	—	1,508
157期(2015年4月6日)	8,881	15	1.0	160.63	0.7	97.3	—	1,498
158期(2015年5月7日)	8,766	15	△1.1	159.45	△0.7	97.4	—	1,468
159期(2015年6月5日)	9,119	15	4.2	166.18	4.2	95.1	—	1,505
160期(2015年7月6日)	8,944	15	△1.8	163.84	△1.4	96.9	—	1,458
161期(2015年8月5日)	9,094	15	1.8	166.96	1.9	94.5	—	1,458
162期(2015年9月7日)	8,727	15	△3.9	161.14	△3.5	96.5	—	1,388
163期(2015年10月5日)	8,870	15	1.8	164.19	1.9	94.1	—	1,403
164期(2015年11月5日)	8,888	15	0.4	163.72	△0.3	92.2	—	1,402
165期(2015年12月7日)	8,959	15	1.0	165.63	1.2	92.3	—	1,379
166期(2016年1月5日)	8,639	15	△3.4	160.39	△3.2	94.1	—	1,301
167期(2016年2月5日)	8,618	15	△0.1	161.26	0.5	94.4	—	1,300
168期(2016年3月7日)	8,378	15	△2.6	155.74	△3.4	95.6	—	1,249
169期(2016年4月5日)	8,257	15	△1.3	153.48	△1.4	95.4	—	1,227
170期(2016年5月6日)	8,013	15	△2.8	148.80	△3.1	96.6	—	1,185
171期(2016年6月6日)	7,938	15	△0.7	147.59	△0.8	96.6	—	1,160
172期(2016年7月5日)	7,700	15	△2.8	143.62	△2.7	95.9	—	1,125
173期(2016年8月5日)	7,606	15	△1.0	142.04	△1.1	95.8	—	1,106
174期(2016年9月5日)	7,761	15	2.2	144.75	1.9	96.9	—	1,122
175期(2016年10月5日)	7,653	15	△1.2	143.09	△1.1	97.2	—	1,102
176期(2016年11月7日)	7,724	15	1.1	144.73	1.1	96.0	—	1,106
177期(2016年12月5日)	8,221	15	6.6	154.05	6.4	96.9	—	1,168
178期(2017年1月5日)	8,376	15	2.1	157.24	2.1	96.3	—	1,175
179期(2017年2月6日)	8,074	15	△3.4	151.99	△3.3	96.8	—	1,128
180期(2017年3月6日)	8,142	15	1.0	153.45	1.0	96.7	—	1,135

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

* 参考指数（=BofA・メルリリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース））は、BofA・メルリリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円換算したものです。

（出所および許可）バンクオブアメリカ・メルリリンチ、（出所）ブルームバーグ

<Dコース>

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率			騰 落 率			
第175期	(期 首) 2016年9月5日	円 7,761	% —	144.75	% —	96.9	% —	—	
	9月末	7,583	△2.3	141.51	△2.2	94.6	—		
	(期 末) 2016年10月5日	7,668	△1.2	143.09	△1.1	97.2	—		
第176期	(期 首) 2016年10月5日	7,653	—	143.09	—	97.2	—		
	10月末	7,771	1.5	145.37	1.6	96.4	—		
	(期 末) 2016年11月7日	7,739	1.1	144.73	1.1	96.0	—		
第177期	(期 首) 2016年11月7日	7,724	—	144.73	—	96.0	—		
	11月末	8,163	5.7	152.47	5.4	96.7	—		
	(期 末) 2016年12月5日	8,236	6.6	154.05	6.4	96.9	—		
第178期	(期 首) 2016年12月5日	8,221	—	154.05	—	96.9	—		
	12月末	8,370	1.8	157.06	2.0	96.2	—		
	(期 末) 2017年1月5日	8,391	2.1	157.24	2.1	96.3	—		
第179期	(期 首) 2017年1月5日	8,376	—	157.24	—	96.3	—		
	1月末	8,189	△2.2	153.89	△2.1	96.1	—		
	(期 末) 2017年2月6日	8,089	△3.4	151.99	△3.3	96.8	—		
第180期	(期 首) 2017年2月6日	8,074	—	151.99	—	96.8	—		
	2月末	8,111	0.5	152.85	0.6	96.6	—		
	(期 末) 2017年3月6日	8,157	1.0	153.45	1.0	96.7	—		

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

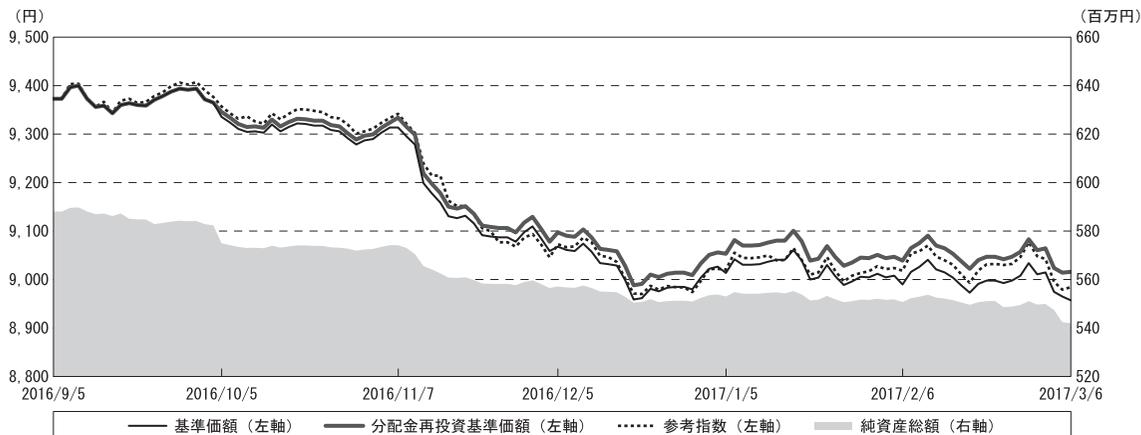
* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

<Cコース>

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第175期首：9,373円

第180期末：8,957円 (既払分配金(税込み)：60円)

騰落率：△3.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年9月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円ヘッジベース)です。作成期首(2016年9月5日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の9,373円から当作成期末には8,957円となりました。

- ・2016年9月に、FOMC(米連邦公開市場委員会)において利上げが見送られたことなどをを受けて、アセットバック証券市場が上昇したこと
- ・2016年11月に、共和党候補のトランプ氏が米国大統領選挙で当選したことをを受けて、同氏の拡張的な財政政策による景気加速や、それに伴うインフレ率上昇への警戒感が高まったことなどを背景に、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・2016年12月に、FOMCで利上げが決定され、2017年以降の利上げペースの加速が意識されたことなどから、アセットバック証券市場が下落したこと

<Cコース>

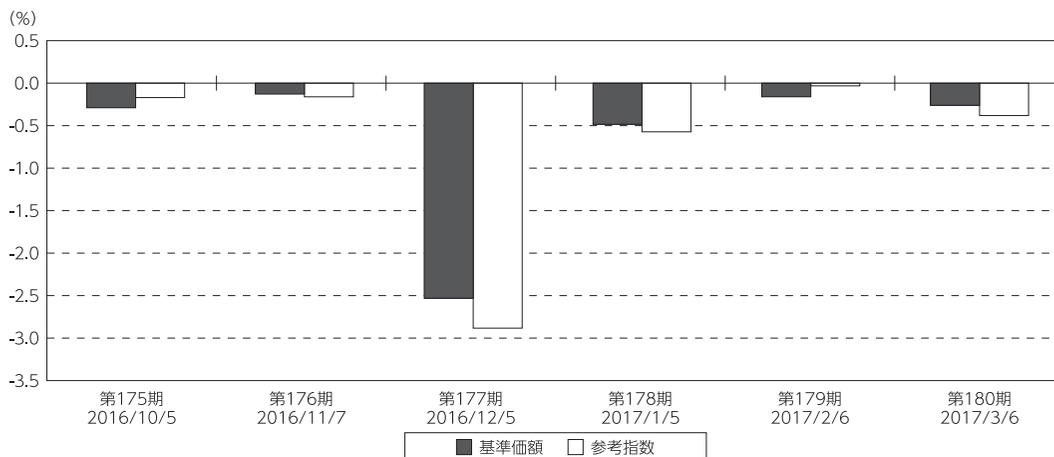
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）の-4.1%に対し、基準価額※は-3.8%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド] でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）です。

<Cコース>

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
	2016年9月6日～ 2016年10月5日	2016年10月6日～ 2016年11月7日	2016年11月8日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月5日	2017年1月6日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.107%	0.107%	0.110%	0.111%	0.111%	0.112%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,508	3,513	3,517	3,522	3,526	3,529

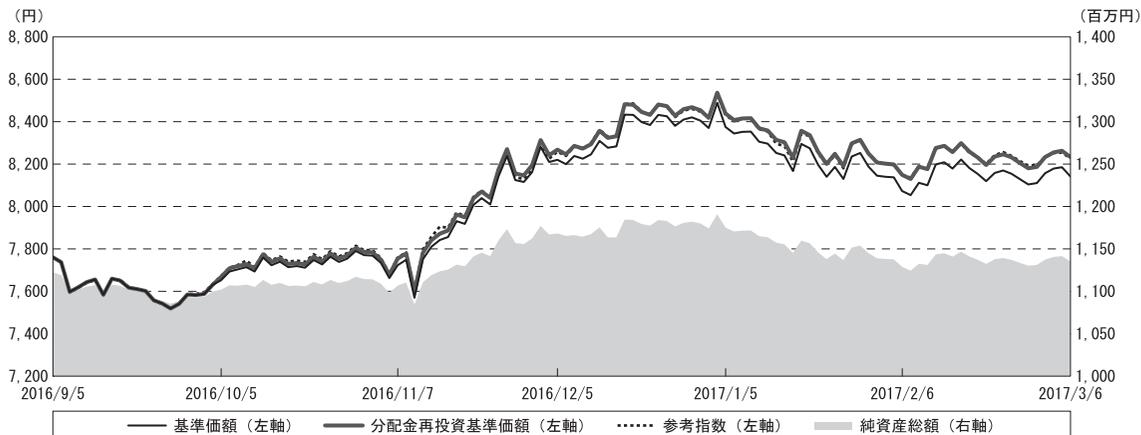
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Dコース>

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2016年9月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。作成期首（2016年9月5日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

基準価額は、当作成期首の7,761円から当作成期末には8,142円となりました。

- ・2016年9月に、FOMC（米連邦公開市場委員会）において利上げが見送られたことなどをを受けて、アセットバック証券市場が上昇したこと
- ・2016年11月に、共和党候補のトランプ氏が米国大統領選挙で当選したことをを受けて、同氏の拡張的な財政政策による景気加速や、それに伴うインフレ率上昇への警戒感が高まったことなどを背景に、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・2016年12月に、FOMCで利上げが決定され、2017年以降の利上げペースの加速が意識されたことなどから、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・ドル/円の為替変動

<Dコース>

○当ファンドのベンチマークとの差異

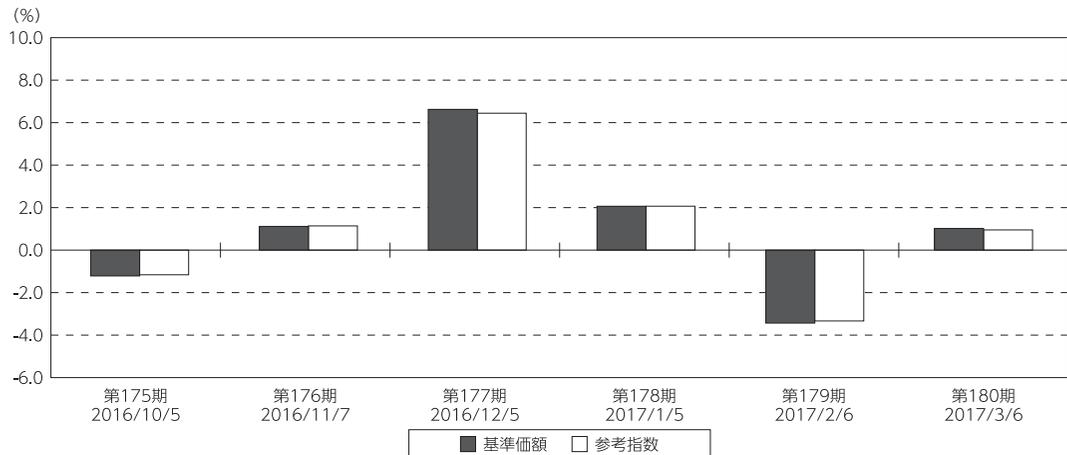
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）の+6.0%に対し、基準価額※は+6.1%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド] でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

<Dコース>

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
	2016年9月6日～ 2016年10月5日	2016年10月6日～ 2016年11月7日	2016年11月8日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月5日	2017年1月6日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	0.196%	0.194%	0.182%	0.179%	0.185%	0.184%
当期の収益	10	15	15	15	13	15
当期の収益以外	4	—	—	—	1	—
翌期繰越分配対象額	1,173	1,176	1,181	1,186	1,184	1,186

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Cコース／Dコース>

○投資環境

米国債券市場は、当作成期間では、利回り上昇（価格は下落）傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRB（米連邦準備制度理事会）の動向、米国大統領選挙および新政権の財政政策などに左右されました。

アセットバック証券市場は、当作成期間では、利回り上昇傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向、米国大統領選挙および新政権の財政政策などに左右されました。

為替市場では、2016年11月に共和党候補のトランプ氏が米国大統領選挙で当選したことを受けて、同氏の掲げる成長政策への期待が広がったことなどから、ドル高・円安が進みました。2017年に入ると、トランプ米国大統領が記者会見などで具体的な政策を示さなかったことなどから、米国経済の成長期待が後退し、ドルが売られる局面もありましたが、当作成期間では、ドルに対して円安が進行しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクを低減させました。

[アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行いませんでした。

[アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

<Cコース/Dコース>

◎今後の運用方針

[アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

[アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図る方針です。

[アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Cコース>

○1万口当たりの費用明細

(2016年9月6日～2017年3月6日)

項 目	第175期～第180期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 50	% 0.549	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(28)	(0.307)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(20)	(0.215)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.025	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.574	
作成期間の平均基準価額は、9,138円です。			

*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年9月6日～2017年3月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第175期～第180期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 2,911	千円 6,800	千口 43,674	千円 101,500

*単位未満は切り捨て。

<Cコース>

○利害関係人との取引状況等

(2016年9月6日～2017年3月6日)

利害関係人との取引状況

<アセットバック証券オープンCコース>

区 分	第175期～第180期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替先物取引	百万円 2,067	百万円 5	0.2	百万円 1,954	百万円 -	-

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年3月6日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第174期末	第180期末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 266,602	千口 225,840	千円 533,434

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年3月6日現在)

項 目	第180期末	
	評 価 額	比 率
アセットバック証券オープンマザーファンド	千円 533,434	% 97.1
コール・ローン等、その他	15,763	2.9
投資信託財産総額	549,197	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第180期末における外貨建て純資産（1,638,034千円）の投資信託財産総額（1,666,430千円）に対する比率は98.3%です。

*外貨建て資産は、第180期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=113.78円。

<Cコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第175期末	第176期末	第177期末	第178期末	第179期末	第180期末
	2016年10月5日現在	2016年11月7日現在	2016年12月5日現在	2017年1月5日現在	2017年2月6日現在	2017年3月6日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,144,866,901	1,136,593,604	1,110,908,356	1,089,177,275	1,072,825,172	1,069,061,328
コール・ローン等	5,706,756	6,272,733	5,248,289	5,471,975	5,260,944	5,454,362
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	577,815,179	574,346,821	565,662,767	554,571,679	536,768,491	533,434,599
未収入金	561,344,966	555,974,050	539,997,300	529,133,621	530,795,737	530,172,367
(B) 負債	569,879,829	562,398,350	553,738,889	536,153,285	522,068,005	527,101,112
未払金	563,130,580	561,209,599	552,649,290	535,012,070	520,920,300	521,600,660
未払収益分配金	615,900	616,483	614,455	613,539	612,632	605,092
未払解約金	5,602,200	—	—	9,000	—	4,429,755
未払信託報酬	530,116	571,159	474,213	517,671	534,034	464,699
未払利息	6	7	7	5	7	6
その他未払費用	1,027	1,102	924	1,000	1,032	900
(C) 純資産総額(A-B)	574,987,072	574,195,254	557,169,467	553,023,990	550,757,167	541,960,216
元本	615,900,552	616,483,932	614,455,942	613,539,781	612,632,426	605,092,426
次期繰越損益金	△ 40,913,480	△ 42,288,678	△ 57,286,475	△ 60,515,791	△ 61,875,259	△ 63,132,210
(D) 受益権総口数	615,900,552口	616,483,932口	614,455,942口	613,539,781口	612,632,426口	605,092,426口
1万口当たり基準価額(C/D)	9.336円	9.314円	9.068円	9.014円	8.990円	8.957円

(注) 第175期首元本額は627,450,552円、第175～180期中追加設定元本額は1,211,874円、第175～180期中一部解約元本額は23,570,000円、1口当たり純資産額は、第175期0.9336円、第176期0.9314円、第177期0.9068円、第178期0.9014円、第179期0.8990円、第180期0.8957円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,967,928円。(‘16年4月26日～’16年10月24日、アセットバック証券オープンマザーファンド)

<Cコース>

○損益の状況

項 目	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
	2016年9月6日～ 2016年10月5日	2016年10月6日～ 2016年11月7日	2016年11月8日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月5日	2017年1月6日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 244	△ 216	△ 190	△ 200	△ 207	△ 164
支払利息	△ 244	△ 216	△ 190	△ 200	△ 207	△ 164
(B) 有価証券売買損益	△ 1,166,488	△ 145,618	△ 14,044,011	△ 2,183,784	△ 303,615	△ 966,509
売買益	8,363,594	7,725,008	44,040,775	26,337,264	20,454,934	8,012,839
売買損	△ 9,530,082	△ 7,870,626	△ 58,084,786	△ 28,521,048	△ 20,758,549	△ 8,979,348
(C) 信託報酬等	△ 531,143	△ 572,261	△ 475,137	△ 518,671	△ 535,066	△ 465,599
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 1,697,875	△ 718,095	△ 14,519,338	△ 2,702,655	△ 838,888	△ 1,432,272
(E) 前期繰越損益金	△ 41,510,665	△ 43,824,440	△ 44,971,563	△ 60,004,092	△ 63,214,543	△ 63,851,302
(F) 追加信託差損益金	2,910,960	2,870,340	2,818,881	2,804,495	2,790,804	2,756,456
(配当等相当額)	(24,525,925)	(24,730,616)	(24,787,973)	(24,781,166)	(24,773,785)	(24,469,093)
(売買損益相当額)	(△ 21,614,965)	(△ 21,860,276)	(△ 21,969,092)	(△ 21,976,671)	(△ 21,982,981)	(△ 21,712,637)
(G) 計(D+E+F)	△ 40,297,580	△ 41,672,195	△ 56,672,020	△ 59,902,252	△ 61,262,627	△ 62,527,118
(H) 収益分配金	△ 615,900	△ 616,483	△ 614,455	△ 613,539	△ 612,632	△ 605,092
次期繰越損益金(G+H)	△ 40,913,480	△ 42,288,678	△ 57,286,475	△ 60,515,791	△ 61,875,259	△ 63,132,210
追加信託差損益金	2,910,960	2,870,340	2,818,881	2,804,495	2,790,804	2,756,456
(配当等相当額)	(24,525,925)	(24,731,795)	(24,788,949)	(24,781,589)	(24,774,000)	(24,469,093)
(売買損益相当額)	(△ 21,614,965)	(△ 21,861,455)	(△ 21,970,068)	(△ 21,977,094)	(△ 21,983,196)	(△ 21,712,637)
分配準備積立金	191,575,458	191,840,705	191,367,472	191,333,781	191,301,906	189,109,819
繰越損益金	△235,399,898	△236,999,723	△251,472,828	△254,654,067	△255,967,969	△254,998,485

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年9月6日～2017年3月6日)は以下の通りです。

項 目	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
	2016年9月6日～ 2016年10月5日	2016年10月6日～ 2016年11月7日	2016年11月8日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月5日	2017年1月6日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	805,106円	881,730円	903,315円	891,875円	890,008円	748,582円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	24,525,925円	24,731,795円	24,788,949円	24,781,589円	24,774,000円	24,469,093円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	191,386,252円	191,575,458円	191,078,612円	191,055,445円	191,024,530円	188,966,329円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	216,717,283円	217,188,983円	216,770,876円	216,728,909円	216,688,538円	214,184,004円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,518円	3,523円	3,527円	3,532円	3,536円	3,539円
g. 分配金	615,900円	616,483円	614,455円	613,539円	612,632円	605,092円
h. 分配金(1万口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

<Cコース>

○分配金のお知らせ

	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Dコース>

○1万口当たりの費用明細

(2016年9月6日～2017年3月6日)

項 目	第175期～第180期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 44	% 0.549	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(25)	(0.307)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(17)	(0.215)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.025	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	46	0.574	
作成期間の平均基準価額は、8,031円です。			

*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年9月6日～2017年3月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第175期～第180期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 26,222	千円 60,700

*単位未満は切り捨て。

<Dコース>

○利害関係人との取引状況等

(2016年9月6日～2017年3月6日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年3月6日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第174期末		第180期末	
		口	数	口	数
			千口	千口	千円
アセットバック証券オープンマザーファンド			502,167	475,945	1,124,182

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年3月6日現在)

項	目	第180期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アセットバック証券オープンマザーファンド		1,124,182	98.7
コール・ローン等、その他		14,411	1.3
投資信託財産総額		1,138,593	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第180期末における外貨建て純資産（1,638,034千円）の投資信託財産総額（1,666,430千円）に対する比率は98.3%です。

*外貨建て資産は、第180期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=113.78円。

〈Dコース〉

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第175期末	第176期末	第177期末	第178期末	第179期末	第180期末
	2016年10月5日現在	2016年11月7日現在	2016年12月5日現在	2017年1月5日現在	2017年2月6日現在	2017年3月6日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,106,012,995	1,111,015,527	1,173,823,448	1,179,207,043	1,132,136,602	1,138,593,508
コール・ローン等	10,844,027	10,397,920	11,670,082	11,335,988	11,479,191	11,011,189
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	1,091,968,968	1,096,617,607	1,156,953,366	1,163,371,055	1,117,557,411	1,124,182,319
未収入金	3,200,000	4,000,000	5,200,000	4,500,000	3,100,000	3,400,000
(B) 負債	3,918,549	4,104,640	5,378,124	4,053,613	3,215,032	3,063,086
未払収益分配金	2,160,111	2,149,611	2,132,029	2,104,410	2,097,420	2,091,915
未払解約金	761,000	848,660	2,279,400	846,564	—	8,133
未払信託報酬	995,482	1,104,204	964,798	1,100,482	1,115,420	961,151
未払利息	13	13	16	10	15	13
その他未払費用	1,943	2,152	1,881	2,147	2,177	1,874
(C) 純資産総額(A-B)	1,102,094,446	1,106,910,887	1,168,445,324	1,175,153,430	1,128,921,570	1,135,530,422
元本	1,440,074,579	1,433,074,579	1,421,352,897	1,402,940,073	1,398,280,361	1,394,610,182
次期繰越損益金	△ 337,980,133	△ 326,163,692	△ 252,907,573	△ 227,786,643	△ 269,358,791	△ 259,079,760
(D) 受益権総口数	1,440,074,579口	1,433,074,579口	1,421,352,897口	1,402,940,073口	1,398,280,361口	1,394,610,182口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,653円	7,724円	8,221円	8,376円	8,074円	8,142円

(注) 第175期首元本額は1,446,450,394円、第175～180期中追加設定元本額は583,726円、第175～180期中一部解約元本額は52,423,938円、1口当たり純資産額は、第175期0.7653円、第176期0.7724円、第177期0.8221円、第178期0.8376円、第179期0.8074円、第180期0.8142円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,967,928円。(‘16年4月26日～’16年10月24日、アセットバック証券オープンマザーファンド)

<Dコース>

○損益の状況

項 目	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
	2016年9月6日～ 2016年10月5日	2016年10月6日～ 2016年11月7日	2016年11月8日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月5日	2017年1月6日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 473	△ 401	△ 387	△ 435	△ 456	△ 344
支払利息	△ 473	△ 401	△ 387	△ 435	△ 456	△ 344
(B) 有価証券売買損益	△ 12,464,304	13,414,737	73,664,593	25,010,656	△ 39,120,587	12,617,920
売買益	110,689	13,448,629	73,935,759	25,129,402	91,460	12,628,506
売買損	△ 12,574,993	△ 33,892	△ 271,166	△ 118,746	△ 39,212,047	△ 10,586
(C) 信託報酬等	△ 997,425	△ 1,106,356	△ 966,679	△ 1,102,629	△ 1,117,597	△ 963,025
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 13,462,202	12,307,980	72,697,527	23,907,592	△ 40,238,640	11,654,551
(E) 前期繰越損益金	△226,454,566	△240,884,981	△228,798,040	△156,141,252	△133,859,060	△175,708,501
(F) 追加信託差損益金	△ 95,903,254	△ 95,437,080	△ 94,675,031	△ 93,448,573	△ 93,163,671	△ 92,933,895
(配当等相当額)	(26,608,491)	(26,479,369)	(26,274,421)	(25,934,280)	(25,870,211)	(25,814,849)
(売買損益相当額)	(△122,511,745)	(△121,916,449)	(△120,949,452)	(△119,382,853)	(△119,033,882)	(△118,748,744)
(G) 計(D+E+F)	△335,820,022	△324,014,081	△250,775,544	△225,682,233	△267,261,371	△256,987,845
(H) 収益分配金	△ 2,160,111	△ 2,149,611	△ 2,132,029	△ 2,104,410	△ 2,097,420	△ 2,091,915
次期繰越損益金(G+H)	△337,980,133	△326,163,692	△252,907,573	△227,786,643	△269,358,791	△259,079,760
追加信託差損益金	△ 95,903,254	△ 95,437,080	△ 94,675,031	△ 93,448,573	△ 93,163,671	△ 92,933,895
(配当等相当額)	(26,608,710)	(26,479,369)	(26,274,655)	(25,934,280)	(25,870,678)	(25,815,071)
(売買損益相当額)	(△122,511,964)	(△121,916,449)	(△120,949,686)	(△119,382,853)	(△119,034,349)	(△118,748,966)
分配準備積立金	142,386,396	142,107,704	141,606,094	140,542,687	139,818,014	139,722,131
繰越損益金	△384,463,275	△372,834,316	△299,838,636	△274,880,757	△316,013,134	△305,867,996

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年9月6日～2017年3月6日)は以下の通りです。

項 目	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
	2016年9月6日～ 2016年10月5日	2016年10月6日～ 2016年11月7日	2016年11月8日～ 2016年12月5日	2016年12月6日～ 2017年1月5日	2017年1月6日～ 2017年2月6日	2017年2月7日～ 2017年3月6日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,552,869円	2,547,843円	2,781,935円	2,833,950円	1,849,884円	2,366,175円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	26,608,710円	26,479,369円	26,274,655円	25,934,280円	25,870,678円	25,815,071円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	142,993,638円	141,709,472円	140,956,188円	139,813,147円	140,065,550円	139,447,871円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	171,155,217円	170,736,684円	170,012,778円	168,581,377円	167,786,112円	167,629,117円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,188円	1,191円	1,196円	1,201円	1,199円	1,201円
g. 分配金	2,160,111円	2,149,611円	2,132,029円	2,104,410円	2,097,420円	2,091,915円
h. 分配金(1万口当たり)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

<Dコース>

○分配金のお知らせ

	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
1万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2017年3月6日現在)

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

下記は、アセットバック証券オープンマザーファンド全体(701,785千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第180期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	87,541	14,236	1,619,797	97.7	0.2	81.8	15.8	0.2
合 計	87,541	14,236	1,619,797	97.7	0.2	81.8	15.8	0.2

*邦貨換算金額は、第180期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスによる格付けを採用しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第180期末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円			
国債証券	US TREASURY N/B	2.25	1,175	1,149	130,840	2027/2/15	
特殊債券 (除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.086	500	502	57,194	2019/3/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.13	1,000	1,034	117,741	2021/6/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.716	2,000	2,027	230,691	2022/6/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.768	457	462	52,623	2024/4/25	
	FHMS K033 A2	3.06	4,272	4,383	498,718	2023/7/25	
	FHMS K503 A2	2.456	750	758	86,303	2019/8/25	
	FN AS1317	4.0	917	966	109,923	2043/12/1	
	GNMA 30YR 589197	6.5	17	19	2,238	2032/8/15	
	GNMA 364408	6.5	4	5	571	2023/11/15	
	SBAP 1998-20F 1	6.3	26	27	3,112	2018/6/1	
SBAP 97-20E	7.3	0.97279	0.97975	111	2017/5/1		
普通社債券 (含む投資法人債券)	BSARM 04-7 4A	3.328205	24	24	2,802	2034/10/25	
	COMM MORTGAGE TRUST	2.801	500	508	57,872	2047/11/10	
	JP MORGAN CHAS CMMRCI IO	0.0648	73,835	267	30,461	2046/12/15	
	JP MORGAN CHASE COMMERC	3.5074	503	522	59,397	2045/5/15	
	JPMCC 2002-CIB4 C	6.45	112	112	12,788	2034/5/12	
	JPMCC 2010-C2 A3	4.0698	400	420	47,846	2043/11/15	
	MORGAN STANLEY BAML TRUS	4.738805	45	48	5,487	2046/11/15	
	WORLD FINANCIAL NETWORK	2.55	500	503	57,333	2024/6/17	

銘 柄			第180期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	WORLD FINANCIAL NETWORK	2.03	500	489	55,736	2025/4/15
合 計						1,619,797	

* 邦貨換算金額は、第180期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

アセットバック証券オープン マザーファンド

運用報告書

第19期（決算日2016年4月25日）

作成対象期間（2015年4月25日～2016年4月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として米国ドル建てのアセットバック証券に分散投資し、高収益の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター（MBS (Mortgage Backed Securities)、CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS (Asset Backed Securities)) への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。
主な投資対象	米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
主な投資制限	株式への投資は転換社債を転換したもの等に限る、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	騰落	中率	騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
15期(2012年4月24日)	14,833	7.8	157.47	7.8	96.7	—	2,719
16期(2013年4月24日)	19,249	29.8	197.62	25.5	98.0	—	2,631
17期(2014年4月24日)	19,700	2.3	199.17	0.8	99.3	—	2,187
18期(2015年4月24日)	24,257	23.1	241.45	21.2	98.3	—	2,164
19期(2016年4月25日)	23,247	△4.2	229.29	△5.0	95.7	—	1,853

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

*参考指数（＝BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース））は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。
（出所、許可）バンクオブアメリカ・メリルリンチ、（出所）ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2015年4月24日	円	%		%	%	%
	24,257	—	241.45	—	98.3	—
4月末	24,094	△0.7	239.70	△0.7	98.2	—
5月末	25,012	3.1	248.80	3.0	96.0	—
6月末	24,606	1.4	245.33	1.6	96.9	—
7月末	24,971	2.9	248.93	3.1	95.2	—
8月末	24,478	0.9	244.70	1.3	93.9	—
9月末	24,495	1.0	244.61	1.3	93.5	—
10月末	24,612	1.5	245.11	1.5	92.9	—
11月末	24,964	2.9	247.72	2.6	90.6	—
12月末	24,295	0.2	242.07	0.3	94.8	—
2016年1月末	24,771	2.1	247.56	2.5	92.7	—
2月末	23,565	△2.9	234.51	△2.9	95.5	—
3月末	23,535	△3.0	232.67	△3.6	96.1	—
(期末) 2016年4月25日	円	%		%	%	%
	23,247	△4.2	229.29	△5.0	95.7	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース)です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の24,257円から期末の23,247円になりました。

- ・ 2015年5月に、4月の米非農業部門雇用者数が市場予想並みの増加幅となり労働市場の回復を示したことや、イエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長が年内の利上げ見通しを示したことなどから、アセットバック市場が若干下落したこと
- ・ 2015年7月に、EU(欧州連合)が求める緊縮策受け入れの是非を問うギリシャ国民投票で反対派が賛成派を上回ったことや、FOMC(米連邦公開市場委員会)声明で慎重な利上げ姿勢などが示されたことなどから、アセットバック市場が上昇したこと
- ・ 2015年9月に、中国景気の減速懸念が高まり、世界経済への影響が不安視されたことや、米利上げが見送られ、米金融政策や世界景気に対する先行き不透明感が高まったことなどを背景に、アセットバック市場が上昇したこと
- ・ 2015年11月に、イエレンFRB議長が議会証言において、年内利上げの可能性に言及したことや、10月の米雇用統計における非農業部門雇用者数が市場予想を上回り、FRBが年内に政策金利を引き上げるとの懸念が高まったことなどを背景に、アセットバック市場が下落したこと
- ・ 2016年1月に、中国の景気減速懸念や、世界的な株安などを背景に、相対的に高格付の債券が選好され、アセットバック市場が上昇したこと
- ・ 期を通して、保有したアセットバック証券などからのインカムゲイン(利息・配当収入)を得たこと
- ・ ドル/円の為替変動

○当ファンドのポートフォリオ

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

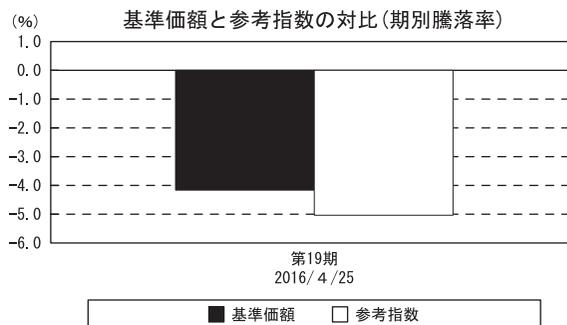
上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）が-5.0%となったのに対し、基準価額は-4.2%となりました。主な差異の要因としては、高位に組み入れたアセットバック証券の価格が上昇したことなどでした。



(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

○今後の運用方針

引き続き、アセットバック証券を中心に国債・政府機関債を加えたポートフォリオを基本とした運用を行う予定です。デュレーションについては市場の変動に応じて調整していく方針です。

投資するアセットバック証券各セクターの運用方針は以下の通りです。

- ①MBSは、当面は現状程度の組入比率を維持しながら、スプレッドの変化に応じて組入比率を調整していく予定です。
- ②CMBSは、同程度の格付けを持つ国債や社債と比べ、高い利回りを有しています。ファンドにおいては現状程度の組入比率を維持しながら、高水準のインカムを享受していく方針です。
- ③ABSは、クレジット環境を注視しながら、短期部分で機動的に組入れる可能性があります。

○1万口当たりの費用明細

(2015年4月25日～2016年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 12	% 0.051	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(12)	(0.050)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	12	0.051	
期中の平均基準価額は、24,449円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年4月25日～2016年4月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千米ドル	千米ドル
外	アメリカ	国債証券	8,438	8,282
		特殊債券	2,376	1,743 (243)
国		社債券（投資法人債券を含む）	1,588	3,800 (112)

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月25日～2016年4月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
為替直物取引	百万円 10	百万円 —	% —	百万円 266	百万円 75	% 28.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年4月25日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	88,757	15,911	1,772,752	95.7	1.4	80.6	15.1	0.0
合 計	88,757	15,911	1,772,752	95.7	1.4	80.6	15.1	0.0

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円			
国債証券	US TREASURY N/B	1.625	600	585	65,279	2026/2/15	
特殊債券 (除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.086	1,400	1,424	158,712	2019/3/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.716	2,000	2,090	232,936	2022/6/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.389	300	324	36,097	2024/3/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.768	475	496	55,318	2024/4/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.13	1,000	1,063	118,484	2047/8/25	
	FHMS K033 A2	3.06	4,272	4,525	504,173	2023/7/25	
	FHMS K503 A2	2.456	1,000	1,026	114,396	2019/8/25	
	FN AS1317	4.0	1,118	1,200	133,744	2043/12/1	
	GNMA 30YR 589197	6.5	17	20	2,266	2032/8/15	
	GNMA 364408	6.5	10	12	1,372	2023/11/15	
	SBAP 1998-20F 1	6.3	53	55	6,224	2018/6/1	
	SBAP 97-20E	7.3	2	2	327	2017/5/1	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	BSARM 04-7 4A	2.859686	36	36	4,053	2034/10/25
COMM MORTGAGE TRUST		2.801	500	513	57,193	2047/11/10	
JP MORGAN CHAS CMMRCI IO		0.0648	73,835	302	33,743	2046/12/15	
JP MORGAN CHASE COMMERC		3.5074	505	537	59,886	2045/5/15	
JPMCC 2002-CIB4 C		6.45	185	188	21,009	2034/5/12	
JPMCC 2010-C2 A3		4.0698	400	426	47,510	2043/11/15	
MORGAN STANLEY BAML TRUS		4.903079	45	48	5,384	2046/11/15	
MSBAM 2014-C18 A2		3.194	500	519	57,899	2047/10/15	
WORLD FINANCIAL NETWORK		2.55	500	509	56,736	2024/6/17	
合 計				1,772,752			

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,772,752	95.7
コール・ローン等、その他	80,425	4.3
投資信託財産総額	1,853,177	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（1,814,584千円）の投資信託財産総額（1,853,177千円）に対する比率は97.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.41円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月25日現在)

○損益の状況 (2015年4月25日～2016年4月25日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,853,177,659
コール・ローン等	72,651,165
公社債(評価額)	1,772,752,841
未収入金	793,191
未取利息	6,929,730
前払費用	50,732
(B) 負債	81
未払利息	81
(C) 純資産総額(A-B)	1,853,177,578
元本	797,167,821
次期繰越損益金	1,056,009,757
(D) 受益権総口数	797,167,821口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,247円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	61,250,204
受取利息	59,253,928
その他収益金	1,996,991
支払利息	△ 715
(B) 有価証券売買損益	△ 136,509,904
売買益	18,694,704
売買損	△ 155,204,608
(C) 保管費用等	△ 1,041,873
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 76,301,573
(E) 前期繰越損益金	1,272,400,755
(F) 追加信託差損益金	43,567,597
(G) 解約差損益金	△ 183,657,022
(H) 計(D+E+F+G)	1,056,009,757
次期繰越損益金(H)	1,056,009,757

(注) 期首元本額は892,478,396円、期中追加設定元本額は31,532,403円、期中一部解約元本額は126,842,978円、1口当たり純資産額は2,3247円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・アセットバック証券オープンDコース 521,707,012円
 ・アセットバック証券オープンCコース 275,460,809円

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。